

九州圏広域地方計画の概要

日本の成長センター「ゲートウェイ九州」
～ 新しい風を西から ～



Gateway KYUSYU

新たな九州圏広域地方計画とは

計画見直しの背景

- ・国土を取り巻く時代の潮流及び課題として、急激な人口減少をとまなう少子化や異次元の高齢化の進展、巨大災害の切迫、インフラの老朽化、ICT（情報通信技術）の劇的な進化等が挙げられます。
- ・このような時代の潮流と課題に適切に対応していくため、長期的かつ総合的な観点から九州圏の今後の発展の基本方向を展望し、九州圏における圏域の形成に関して、重点的に取り組むべき基本的な対応方針等を明らかにする新たな九州圏広域地方計画を策定しました。
- ・広域地方計画は、「国土形成計画（全国計画）」を受け、広域ブロックの自立的発展に向け、21世紀前半期を展望しつつ、今後概ね10年間の地域のグランドデザインをとりまとめた計画であり、平成28年3月29日に大臣決定されました。

九州圏の特性及び課題

- 地理的に成長するアジアの玄関口
- 成長期待産業の集積、全国有数の農林水産地域
- 風水害・土砂災害・火山災害や南海トラフ地震などの災害のリスク

基本方針

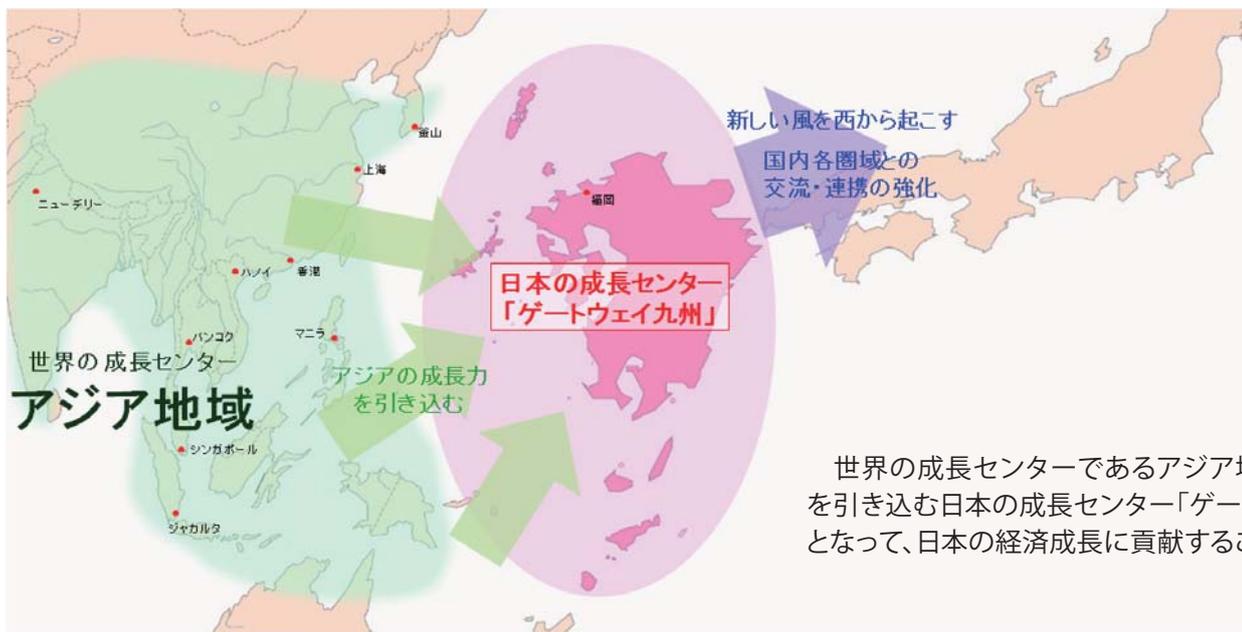
- アジアのゲートウェイとして、アジアの成長を引き込み、高速交通ネットワークを賢く使い、中国、四国を始めとする他圏域との対流を促進
- 新技術等による戦略的な産業基盤強化、オール九州農林水産物の輸出拡大
- 地域の発展基盤として、巨大災害対策や環境調和を推進

九州圏の3つの将来像

1

日本の成長センター「ゲートウェイ九州」

(イメージ図)

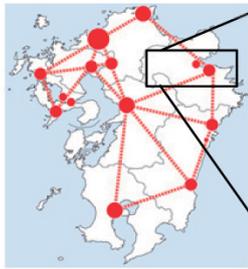


世界の成長センターであるアジア地域の成長力を引き込む日本の成長センター「ゲートウェイ九州」となって、日本の経済成長に貢献することを目指す。

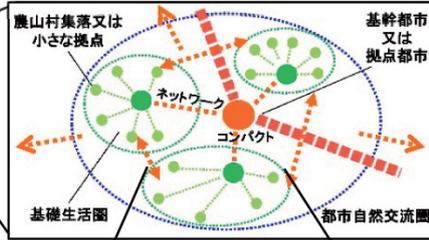


2 三層の重層的な圏域構造からなる「元気な九州圏」

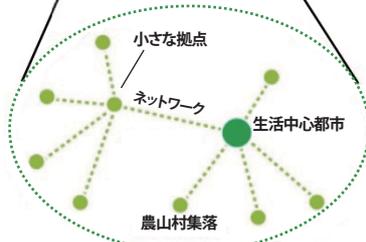
九州基幹都市連携圏



都市自然交流圏



基礎生活圏



■九州基幹都市連携圏

基幹都市の高次都市機能の向上・連携により九州の成長基盤となる

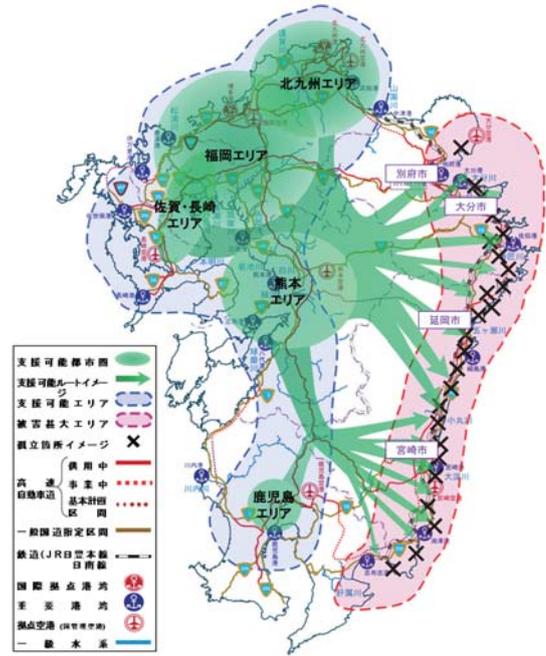
■都市自然交流圏

コンパクト化とネットワークにより、都市と自然地域が交流と相互貢献により共生を図る

■基礎生活圏

暮らしやすい生活環境の保全と生活支援機能の維持

3 巨大災害対策や環境調和を発展の原動力とする「美しく強い九州」



九州圏の3つの将来像と5つの戦略（プロジェクト）

九州圏の将来展望として日本の成長センター「ゲートウェイ九州」を掲げ、3つの将来像を定めました。

さらに、将来像の実現に向けて、重点的に取り組む5つの戦略とそれを支える12のプロジェクトを設定しました。

プロジェクトは、広域的な影響・効果を与えるもの、広域的な連携を図るもの、先導性、発展性を有するものを主要施策として取り上げています。

第3章 九州圏の将来像

第1節 日本の成長センター「ゲートウェイ九州」

- (1) 日本の成長センター「ゲートウェイ九州」の形成
- (2) 九州圏と国内各圏域との交流・連携を促進し、新しい成長の風を西から起こす

第2節 三層の重層的な圏域構造からなる「元気な九州圏」

- (1) 三層の重層的な圏域構造を形成し、圏域内の連携の強化により「元気な九州圏」を確立

第3節 巨大災害対策や環境調和を発展の原動力とする「美しく強い九州」

- (1) 頻発する風水害、土砂災害、火山災害や巨大災害への対応力の確立
- (2) 美しく豊かな自然環境の保全と適切な活用、環境負荷低減等の取組の推進と持続可能なエネルギーの確保と利用拡大

第4章 九州圏の将来像の実現に向けた5つの戦略（プロジェクト）

第1節 アジアゲートウェイ機能の強化

- (1) アジアとの交流・連携を促進する「ゲートウェイ九州」の形成プロジェクト①
- (2) 国内各圏域との交流・連携の強化プロジェクト②

第2節 九州圏の活力を創出する交流・連携の促進

- (1) 九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト③
- (2) 九州圏の交流・連携を促進するネットワーク基盤の整備プロジェクト④

第3節 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化

- (1) 九州圏を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト⑤
- (2) 高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開プロジェクト⑥

第4節 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化

- (1) 九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化プロジェクト⑦
- (2) 都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上プロジェクト⑧
- (3) 離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成プロジェクト⑨
- (4) 九州圏の活力を担う人材の地産地活プロジェクト⑩

第5節 九州圏の安全・安心の確保と自然環境・国土の保全

- (1) 巨大災害等への対応力の強化プロジェクト⑪
- (2) 環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全プロジェクト⑫

九州圏広域地方計画におけるプロジェクトの紹介

戦略1 アジアゲートウェイ機能の強化

アジアとの交流・連携を促進する「ゲートウェイ九州」の形成プロジェクト

アジアの成長力を引き込み安定した経済成長を実現するため、アジアとの交流・連携の促進、グローバル人材の育成や国際協力の促進および、港湾、空港や交通ネットワークの機能強化等により「ゲートウェイ九州」の形成を図る。

▼クルーズ船の受け入れ環境の整備

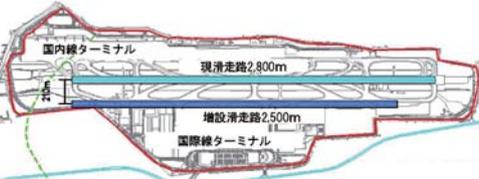
クルーズ船の寄港増や大型化に対応し、既存施設を活用した旅客船ターミナルの整備など、受け入れ環境の充実を図る。



出典)福岡市

▼福岡空港の滑走路増設

慢性的に発生しているピーク時の航空機混雑を抜本的に解消するため、滑走路増設の着実な推進を図る。



出典)九州地方整備局

▼グローバル創業・雇用創出特区の取組

産業の国際競争力の強化や更なる雇用拡大を図るため、大胆な規制改革等を通じ、国内外から九州に人と企業を呼び込み、起業や新規事業の創出を促進する。



出典)福岡市

2

国内各圏域との交流・連携の強化プロジェクト

「ゲートウェイ九州」の効果を国内に波及させるため、瀬戸内海、豊後水道や関門海峡を介した中国圏、四国圏や近畿圏等の国内各圏域と、九州圏の各地域との交流・連携を強化する。

▼関門連携

下関市と北九州市は、関門海峡地域のよりよい都市環境を創造するため、「関門の5連携」に取り組んでいる。



出典)下関市

▼無料の公衆無線LAN (Wi-Fi) の充実

スマートフォン向け無料観光アプリと連携可能な無料Wi-Fiスポットの拡大支援を図ることで、観光情報提供の充実による外国人観光客の消費拡大に向けた取組を推進する。



出典) (一社)九州経済連合会

▼温泉アイランド九州広域観光周遊ルートの形成

世界文化遺産を始めとする歴史・文化資源、全国一の源泉数と湧出量を誇る温泉、自然、食文化など、九州7県の多様な魅力を楽しむ「温泉アイランド九州広域観光周遊ルート」での広域観光を推進する。



出典)九州運輸局

3

戦略2 九州圏の活力を創出する交流・連携の促進

九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト

九州圏に活力をもたらす交流・連携を促進するため、九州圏の豊かな自然環境、歴史、文化、食文化等の地域資源を広域的に結びつけ、魅力ある一大観光地としての発展を促す。

▼世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の保全・活用

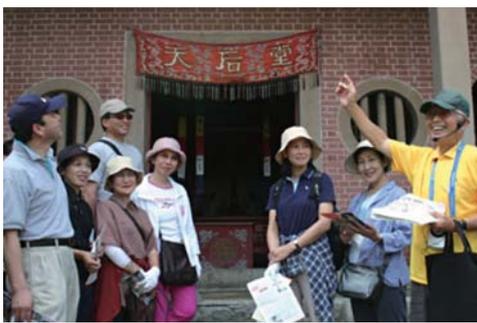
現存する歴史的な建造物や土木構造物、遺跡などにより、日本の産業化が世界的観点から極めて重要であることを示す遺産である。



出典)鹿児島市

▼まち歩きによる観光「さるく」の拡大

地域の歴史や文化等を味わうまち歩き観光「さるく」を、九州全域に拡大促進する。



出典)長崎市

▼九州オルレの整備

韓国済州オルレの姉妹版の九州オルレ、九州各県に美しい風景の中でトレッキングを楽しむ17コースが整備されている。



出典)九州オルレ認定地域協議会



4

九州圏の交流・連携を促進するネットワーク基盤の整備プロジェクト

九州圏内の交流・連携を促進し、産業の振興、新たな観光ルートの形成等を図るため、高規格幹線道路や新幹線等の必要な整備や、駅や港等から周辺地域への二次・三次交通等の整備など、ネットワーク基盤の整備を図る。

▼九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の整備

長崎県・佐賀県へのアクセスが向上する九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)は、着工日(平成24年8月)から概ね10年後に完成予定である。



出典 佐賀県

▼東九州自動車道の整備促進

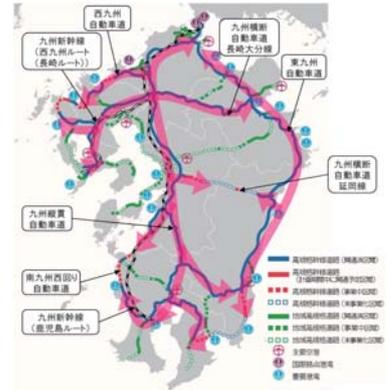
東九州を始め、九州全体の産業・経済・文化の一体的浮揚を図るため、東九州自動車道の整備を促進する。



出典 九州地方整備局

▼基幹都市連携圏を支える高速交通基盤の整備(イメージ)

九州の交流・連携を促進し、産業の振興、新たな観光ルートの形成を図るため、九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)や高規格幹線道路等の高速交通基盤の整備を図る。



5

戦略3 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化

九州圏を支える基幹産業の発展と活性化プロジェクト

九州圏を支える基幹産業の発展と活性化を図るため、アジアのゲートウェイ機能を十分に活かしつつ、これまで培われ集積された技術など九州圏の強みを活かして戦略的に産業基盤の強化を促進する。

▼自動車の生産



出典 福岡県

▼新産業分野ベンチャー企業の育成

付加価値の高い先端LSI開発拠点を形成するため、福岡県では総合的な支援施設の整備等によりベンチャー企業の育成等を推進する。



出典 福岡県

▼アジアに貢献する東九州メディカルバレーの取組

医療分野でアジアに貢献する地域を目指し、東九州地域において、産学官が連携を深めている。



出典 国立研究開発法人 科学技術振興機構

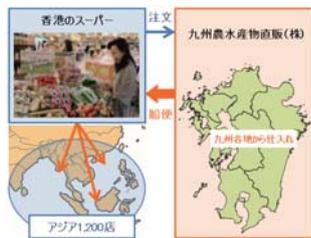
6

高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開プロジェクト

高度なニーズにこたえる農林水産業や地域産業の新たな展開を促進するため、オール九州農林水産物の輸出拡大、九州ブランドの育成・強化、ICTを活用した生産・物流システムの高度化、6次産業化や農商工連携の推進等を図る。

▼九州産農林産物の輸出促進

「九州産」の農林水産物等を取り扱う九州農水産物直販(株)等を活用した農林水産物の輸出拡大を図る。



鮮度を保つコテナの活用
⇒従来の航空機に比べ、コストを1/10削減
出典 (一社)九州経済連合会

▼水産業の6次産業化

「より安全で品質の高いプリフィレ」を供給するため、鹿児島県東町漁協は、養殖ブリの加工において高いレベルの安全と衛生管理手法を取り入れている。



出典 東町漁協

▼海外での商談会の開催

香港(H25)、シンガポール(H26)において、九州農業成長産業化連携協議会及び日本貿易振興機構は現地バイヤーを招き、九州産農水産物・食品の輸出商談会を九州全体の取組として開催している。



出典 九州農政局

戦略4 九州圏の圏域機能の向上と連携の強化

九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化プロジェクト

九州圏の活力源となる高次都市機能の向上と連携の強化を図るため、県庁所在都市等の高次都市機能を持つ「基幹都市」を中心とした基幹都市圏の形成や、人や物の交流・連携を支える高速ネットワーク等の形成、ICTの利活用環境整備による情報の交流・連携の円滑化を図る。

▼空き建築物等既存ストックを有効活用した賑わいの創出

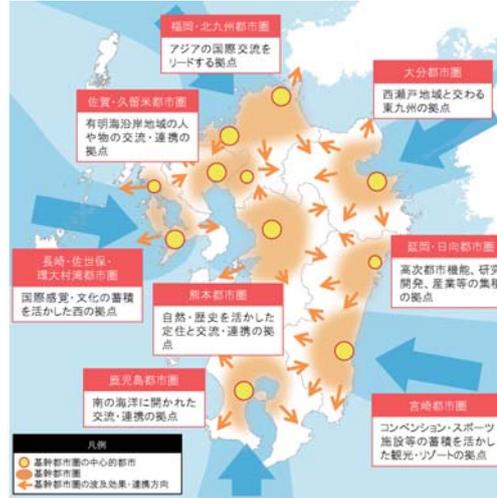
空き家等を有効活用し、リノベーション(中古建築物の改修)によって、街なかの賑わい創出が進められている。



出典) 北九州市

▼バランスの良い都市的サービスの提供(イメージ)

高次の都市的サービスを提供する地域の自立的発展の拠点を圏域内にバランスよく形成することを目指し、都市機能の向上を図る。



出典) 九州地方整備局

▼鉄道高架事業の促進

道路と鉄道が交差する一定区間の鉄道を高架化し、踏切の除去を進め、踏切事故や交通混雑の解消、騒音、振動などの周辺環境の改善を図る。



出典) 熊本市

8 都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上プロジェクト

都市と農山漁村の連携の強化と生活環境の向上を図るため、基礎生活圏における暮らしやすい生活環境の保全と生活サービスの維持を目指すとともに、拠点都市の機能充実や都市自然交流圏の形成を図る。

▼農家民泊による都市との交流

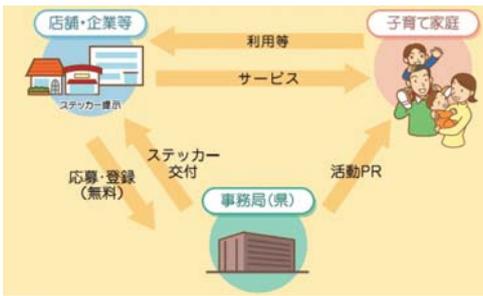
農家民泊に取り組む長崎県松浦市では、「松浦党の里 ほんなもん体験」により、関西・関東の中学生など年間160校、約3万人の生徒を受け入れている。



出典) 松浦市

▼子育てを応援する店舗・企業等の取組支援

未来の九州を担う子どもたちを育てている家庭を社会全体で支えるため、九州各県において、子育てを応援する店舗・企業を登録し、子育て家庭に必要なサービスを提供する取組を推進する。



出典) 熊本県

▼地域公共交通確保維持改善

地域公共交通の確保、維持を図るとともに、地域公共交通の改善に向けた取組として、多様な関係者が連携し運行している。



乗合タクシー

出典) 九州運輸局

9 離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図る定住環境の形成プロジェクト

離島・半島、中山間地域等の活力の維持と向上を図るため、地理的、自然的、社会的条件が厳しい地域における都市機能と生活支援機能、就業機会等の一定の基礎条件の確保や豊かな定住環境の形成を図る。

▼住民総出の「むら」おこし

6次産業化によって集落を活性化している鹿児島県鹿屋市串良町柳谷地区(通称:やねだん)では、サツマイモ栽培から焼酎開発、トウガラシ栽培からコチュジャン開発を進めている。



出典) 鹿屋市

▼地域資源の活用

地域資源の「椿」を活用し、長崎県五島列島では、椿油製品を開発・販売するなど地域活性化に向けた取組を促進している。

地場産業の振興(新たな商品開発)



出典) 内閣府

▼離島航路等の基盤整備

厳原港、名瀬港、和泊港等において、岸壁等の離島ターミナル整備を推進する。



出典) 九州運輸局



10 九州圏の活力を担う人材の地産地活プロジェクト

九州圏の活力を担う人材の地産地活に向けた取組を促進するため、九州圏の活力を担う人材の育成・確保、U I J ターン者への受け入れ環境の整備促進や多様な人材の活躍を促進する。

▼大学等の高等教育機関における

地方創生の人材育成を行う学部設置

陶磁器産業の従事者等を対象に、佐賀大学では、ろくろ、絵付等の技術研修とともにセミナー等の研修の場を提供し、伝統の継承と産業に貢献できる人材の育成を目指す。



出典) 佐賀県

▼70歳現役社会づくりの促進

年齢にかかわらず、経験や知識に応じて様々な形で活躍し続けることができる社会の実現に向け、福岡県では、「70歳現役応援センター」を開設している。



出典) 福岡県

▼テレワークによる働く場の創出

ネットを通じて県内外から仕事を得ることで、市民が出来る仕事の幅を増やすため、宮崎県日南市では、「日南市式テレワーク」による新たな働く場の創出を進めている。



出典) 日南市

11 戦略5 九州圏の安全・安心の確保と自然環境・国土の保全

巨大災害などへの対応力の強化プロジェクト

巨大災害などへの対応力の強化を図るため、被害を未然に防止するための国土強靱化の取組を推進するとともに、地域の経済社会活動、安全・安心を支えるインフラの必要な維持管理・更新等の老朽化対策を推進する。

▼ダム洪水調節容量の増大

鶴田ダムでは、既設ダムを運用しながら、今よりも低い位置に放流管を増やすとともに、洪水調節容量を増大させ、治水機能の向上を図る。



出典) 九州地方整備局

▼災害情報共有システムの利活用の促進

災害情報を多様なメディアを通じて迅速に伝達できる災害情報共有システム(Lアラート)の導入と利用拡大を図る。



出典) 熊本県

▼広域連携防災訓練における連携強化

南海トラフ巨大地震に備えた広域連携防災訓練では、関係機関の連携強化を進めている。



出典) 九州地方整備局

12 環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全プロジェクト

環境負荷の軽減と自然環境・国土の保全を図るため、九州圏における環境・エネルギー分野での先導的な取組を更に発展させつつ、豊かな自然の保護や再生、循環型社会及び低炭素型社会の構築に向けた取組を総合的に進め、持続可能な地域づくりを促進する。

▼先導的な産業リサイクル拠点

アジア規模の国際資源循環・環境産業拠点を目指した先導的な産業リサイクル拠点の形成を図るため、北九州エコタウンでは、環境政策と産業振興政策を統合した独自の地域政策を展開している。



出典) 北九州市

▼石油代替エネルギーへの燃料転換の促進

温泉熱発電システム「湯けむり発電」や落差の少ない水路で発電する「清流発電」などの開発が進み、国内外のエネルギー市場への参入が期待されている。



出典) 大分県

▼閉鎖性海域の保全に向けた水質保全対策の推進

閉鎖性海域の保全に向けた取り組みとして、有明海・八代海海域において、水質・底質などの各種環境調査の実施や浮遊ゴミの回収を推進する。



出典) 九州地方整備局

国土形成計画法

- 国土形成計画法は、従来の「開発」基調、量的拡大を目指す国土計画から、成熟社会型の計画に転換するため、我が国の自然的、経済的、社会的及び文化的諸条件を維持向上させ、総合的な国土の形成に関する施策の指針となる概ね10年間の国土形成計画を定めるものです。
- 国土形成計画は、国による明確な国土及び国民生活の姿を示す「全国計画」と、8つのブロック単位の地方ごとに国と都府県等が適切に役割分担しながら、相互に連携・協力して策定する「広域地方計画」の二つの計画から構成されています。

全国計画(平成27年8月14日閣議決定)

- 本格的な人口減少社会の到来、異次元の高齢化、巨大災害の切迫等、国土を取り巻く厳しい状況変化のなかで、①安全で、豊かさを実現することのできる国、②経済成長を続ける活力ある国、③国際社会の中で存在感を発揮する国を目標に掲げ、国土づくりの方向性を示したものです。
- 国土の基本構想として、それぞれの地域が個性を磨き、異なる個性を持つ各地域が連携することにより、イノベーションの創出を促す「対流促進型国土」の形成を図ることを示し、実現のための国土構造として「コンパクト＋ネットワーク」の形成を進めることとしています。
- 広域地方計画は、全国計画を踏まえ、各広域ブロックの自立的な発展、相互の交流・連携や独自性を活かした地域戦略を描くものです。



九州圏広域地方計画協議会

経済団体：一般社団法人九州経済連合会、九州商工会議所連合会

地方公共団体：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県、沖縄県、北九州市、福岡市、熊本市、九州市長会、九州地区町村会長会

地方支分部局：九州管区警察局、九州総合通信局、九州財務局、九州厚生局、九州農政局、九州森林管理局、九州経済産業局、九州地方整備局、九州運輸局、大阪航空局、第七管区海上保安本部、第十管区海上保安本部、九州地方環境事務所



国土交通省

国土交通省 九州地方整備局
九州圏広域地方計画推進室

問合せ先

国土交通省 九州地方整備局

- 企画部 企画課
- 企画部 広域計画課
- 建政部 計画管理課

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第二合同庁舎
tel:092-471-6331 (代表)
<http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/index.html>

国土交通省 九州運輸局

- 交通政策部 交通企画課
- 観光部 観光企画課

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎新館
tel:092-472-2315 (代表)